

## 令和2年度平内中央病院新改革プラン推進委員会会議録

日 時 令和2年11月5日（木）15：30開会 16：28閉会  
場 所 平内中央病院会議室  
出席者 委員8名 事務局2名

### 会議概要

- 1 開会 管理者挨拶
- 2 委嘱状交付
- 3 委員会所掌事項及び委員紹介
  - (1) 平内中央病院新改革プラン評価委員会について  
資料による説明（事務局）
  - (2) 委員紹介  
資料による説明（事務局）
- 4 議題
  - (1) 委員長及び副委員長の選任について  
委員長に首藤院長、副委員長に七尾委員を他薦により選出し委員の賛同を得た。
  - (2) 会議の公開について  
委員長より昨年度同様（会議録の公開）としたい旨提案。委員の賛同を得た。
  - (3) 新改革プランの評価について  
資料による説明（事務局）

### 質疑応答

委員A：昨年度のこの会議において、委員Bから地域包括ケア病床の類上げによって自己負担が増えるのではないかと質問に対し、事務局の回答は高額医療費に該当するため、個人負担ではなく保険者負担になるとの説明だった。該当する患者の平均の入院期間を知りたい。また、近隣で地域包括ケア病床を持っている医療機関はあるのか。

事務局：当院は、一般15床・地域包括ケア33床・療養48床と3つの機能を合わせ持った「ケアミックス病院」です。

ケアミックス病院が一般病院と異なる点としては、1つの病院で、一般的な診療、治療、手術後のケア、そして看取りに至るまで、患者さんの状態や状況に合った医療サービスを提供できるメリットがあります。一般的な入院期間は一般で14日、地域包括60日、療養180日。当院では、月によって波がありますが、一般で15日、地域包括は35日となっていますので、1カ月単位でみた場合、限

度額を超える状況です。また療養は一般平均と同様180日となっております。  
2点目の地域包括ケア病床を有する病院については、お隣の公立野辺地病院、公立七戸病院、青森市内ですと村上病院、青森厚生病院、青森慈恵会病院など比較的規模の大きな病院でもほとんどが持っています。大きなところでは、三沢病院や十和田市民病院も持っています。

その背景として国の政策において、病院における病床機能の分化と在宅医療の充実を図ることによって、地域包括ケアシステムを構築する方針のもと、一般病床を削減するために、診療報酬上、地域包括ケア病床や療養病床を優遇して誘導しました。結果として、一般病院であったものが、転換しているのが現状です。

委員A：因みに国民健康保険でいうと後期高齢の方が多いですか。

事務局：当院の患者さんは高齢者が多いので、後期高齢の方が圧倒的に多いです。

委員B：医療機能等指標に係る数値目標のうち、訪問診療・看護・リハビリは目標の417回を令和元年度は大幅にクリアし、838回という実績でした。これは皆さんが在宅医療の強化・充実を図り体制を整えていただいた結果だと思います。この訪問診療・看護・リハビリの今後の需要見込みと病院の体制についてお知らせください。

事務局：過去の実績で見てもお解りのとおり、訪問診療・看護・リハビリは平成28年度から4年間で2倍に増加しております。この需要は、今後も続くと考えられます。今後25年間の当町の人口推移をみますと、現在の人口は約1万1千人ですが、25年後には半減して5千人程度になる見込みです。訪問診療・看護・リハビリの主な対象となる、75歳以上の高齢者人口は、この25年間2千人前後で高止まりしたまま続きます。当院では、在宅医療に更に特化した施設として、町に訪問看護ステーションの設置を検討しています。これについては、介護保険料にも関係しますので、町担当課、関係機関とも十分協議していきたいと考えています。

委員A：後発医薬品の使用割合が伸びてきていて、80%を超えてきました。これは国民健康保険でも保険者支援努力制度の点数になっているので、大変喜ばしいと思います。この処方については、医師が意識的に勧めていただいているのか、それとも患者さんの希望でしょうか。

委員C：医師は患者さんの病状によって処方しますので、一概に後発医薬品を処方す

る訳ではありませんが、目標達成に向けた努力もしています。最近は、患者さんが自ら希望するようになってきたので、意識として浸透してきていると思います。

質疑終了

#### 総合評価

令和元年度は、常勤医師が少なく厳しい状況の中で経常利益を上げ、黒字を維持できたこと、概ね計画値をクリアし目標を達成したことは評価するところである。一方、青森地域医療構想において、現段階で見直し対象から除外されたものの、中長期的な展望を持って、運営にあたっていただきたい。

また、令和2年度は本プランの最終年度である。目標に掲げた項目を達成できるよう更なる経営努力を切望するものである。と記載する旨了承され会議を終了した。

署名委員 増村 睦子

署名委員 塩越 信子